

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道折原川島線舗装補修工事(2)	渋川市	3,445,200	2,800,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道折原川島線舗装補修工事(2)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		渋川市		
交付金事業実施場所		渋川市金井地内		
交付金事業の概要		施工延長 L=122.7m 表層 t=4cm、A=633.7㎡ 不陸整正 t=6cm、A=633.7㎡ 区画線工 一式		
総事業費	3,445,200	交付金充当額	2,800,000	
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	2,800,000	
交付金事業の成果目標		本路線は、渋川市金井北部に位置し、県道渋川東吾妻線へ通じる主要道路の一つで、沿線に工場施設等も有ることから大型車両の交通量も多く、轍や亀甲状のひび割れなど舗装が著しく損傷しており、道路瑕疵が疑われる車両損傷被害が発生した路線です。そのため通行者並びに近隣住民からも早期の対応を要望されている路線であることから、本交付金を活用し、舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を高めることを目的とする。		
交付金事業の成果指標		地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を確保するためには、道路瑕疵につながるような、轍掘れ及び路盤上のひび割れ等の解消改善を図る必要があるため、舗装補修を実施する。 (必要維持補修延長L=2,930m 舗装補修実施延長L=122.7m 舗装補修実施割合4.2%)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金活用により、本年度は延長122.7m、面積633.7㎡の舗装補修を実施した。本年度整備した区間においては、ひび割れ率0%、轍掘れも解消され、地区自治会長等からは振動が解消され、良くなったとの意見を頂いた。本路線の舗装補修はH29年から実施し、本年度で舗装補修実施割合4.2%を達成することができ、交通量も多い生活道路としての安全性の確保や振動の解消等が図られた。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
道路の舗装維持修繕		指名競争入札	宮本建設工業 株式会社	3,445,200
		計		3,445,200
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度該当なし	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道小野子村上線道路改良工 事(1)	渋川市	4,719,600	4,300,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道小野子村上線道路改良工事(1)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		渋川市		
交付金事業実施場所		渋川市村上地内		
交付金事業の概要		施工延長 L=87.0 m アスファルト舗装工 t=4cm、A=467.4㎡ 側溝工 L=74.8m 防護柵設置工 L=16.5m		
総事業費	4,719,600	交付金充当額	4,300,000	
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	4,300,000	
交付金事業の成果目標	本路線は、市町村道1級路線であり、市の基幹道路としての役割を果たすとともに、地域住民の生活道路となっている。また、本路線は、当初2級林道規格として開設したもので、昭和58年度に舗装工事を行ったが、通行車両の増加により、舗装が著しく損傷しており、地域住民からも早期の対応を要望されている路線である。よって、本交付金を活用し、道路構造の改良と舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性の向上と観光資源の活用にも供する生活道路として交通の安全性を高めることを目的とする。			
交付金事業の成果指標	地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を確保するためには、減災等にも繋がるような、轍掘れ及び路盤上のひび割れ等の解消改善を図る必要があるため、舗装補修を実施する。 (必要維持補修延長L=1609.6m 舗装補修実施延長L=1609.6m 舗装補修実施割合100%)			
交付金事業の成果及び評価	本交付金活用により、本年度は延長87m、面積467.4㎡の舗装補修を実施した。本年度整備した区間においては、ひび割れ率0%、轍掘れも解消され、地区自治会長等からは騒音や振動が解消され、良くなったとの意見を頂いた。本路線の舗装補修は平成22年度より実施し、本年度で舗装補修実施割合100%を達成することができ、交通量も多い生活道路としての安全性の確保や騒音の解消等が図られた。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	道路の舗装維持修繕	指名競争入札	飯塚緑地 株式会社	4,719,600
		計		4,719,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H30

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道西組子持中学校線舗装補修工 事(2)	渋川市	4,471,200	3,900,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道西組子持中学校線舗装補修工事(2)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		渋川市		
交付金事業実施場所		渋川市中郷地内		
交付金事業の概要		施工延長 L=138.0 m 舗装打換え工 t=4cm、A=758.2㎡ 区画線工 一式 横断側溝 L=6.6m 集水柵 N=1基		
総事業費	4,471,200	交付金充当額	3,900,000	
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	3,900,000	
交付金事業の成果目標	本路線は、渋川市中郷南部に位置し、近接地に子持地区の中学校があり通学路の一つである。周辺の住宅地からの通過交通もあることから、車両の交通量が多く、現状は轍や亀甲状のひび割れなどが発生して著しく損傷しており、騒音や振動が発生している。そのため通行者並びに近隣住民からも早期の対応を要望されている路線であることから、本交付金を活用し、舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を高めることを目的とする。			
交付金事業の成果指標	地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を確保するためには、道路瑕疵につながるような、轍掘れ及び路盤上のひび割れ等の解消改善を図る必要があるため、舗装補修を実施する。 (必要維持補修延長L=500m 舗装補修実施延長L=290m 舗装補修実施割合58.0%)			
交付金事業の成果及び評価	本交付金活用により、本年度は延長138.0m、面積758.2㎡の舗装補修を実施した。本年度整備した区間においては、ひび割れ率0%、轍掘れも解消され、地区自治会長等からは騒音や振動が解消され、良くなったとの意見を頂いた。本路線の舗装補修は平成28年度から実施し、舗装補修実施割合58.0%を達成することができ、生活道路及び通学路としての安全性の確保や騒音の解消等図られた。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	道路の舗装維持修繕	指名競争入札	株式会社島田建設工業	4,471,200
		計		4,471,200
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H31

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道大規模線舗装補修工事<1>	渋川市	4,935,600	4,700,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道大規模線舗装補修工事<1>		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		渋川市		
交付金事業実施場所		渋川市赤城町北上野地内		
交付金事業の概要		施工延長 L=151.2m 路面切削工 t=4cm、A=1,049.1㎡ アスファルト舗装工 t=4cm、A=1,049.1㎡ 区画線工 L=453.6m		
総事業費		4,935,600	交付金充当額	4,700,000
			うち文部科学省分	
			うち経済産業省分	4,700,000
交付金事業の成果目標		本路線は、大型車両の交通量が多く、舗装面がひび割れ等が激しく通行に支障を生じている。また、雨水排水もたまり生活環境へ悪影響を生じ、冬期には路面が凍結する原因にもなっている。このことから、本交付金を活用し、舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を高めることを目的とする。		
交付金事業の成果指標		地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を確保するためには、道路瑕疵につながるような、轍掘れ及び路盤上のひび割れ等の解消改善を図る必要があるため、舗装補修を実施する。 (必要維持補修延長L=912m 舗装補修実施延長L=784m 舗装補修実施割合85.9%)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金活用により、本年度は延長151.2m、面積1,049.1㎡の舗装補修を実施した。本年度整備した区間においては、ひび割れ率0%、轍掘れは解消され、地区自治会長等からは騒音や振動が解消され、良くなったとの意見を頂いた。本路線の舗装補修はH25年から実施し、本年度で舗装補修実施割合85.9%を達成することができ、交通量も多い生活道路としての安全性の確保や騒音の解消等が図られた。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
道路の舗装維持修繕		指名競争入札	株式会社 齊藤土建	4,935,600
		計		4,935,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H31

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道北町竹ノ原線舗装補修工事〈2〉	渋川市	6,620,400	5,700,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道北町竹ノ原線舗装補修工事(2)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		渋川市		
交付金事業実施場所		渋川市北橋町八崎地内		
交付金事業の概要		施工延長 L=138.0m 表層 t=4cm、A=776.2㎡ 上層路盤 t=9cm、A=776.2㎡ 下層路盤 t=20cm、A=755.5㎡ 溶融式区画線実線 w=15cm、L=277.0m		
総事業費	6,620,400	交付金充当額	5,700,000	
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	5,700,000	
交付金事業の成果目標		本路線は、全線にわたり農業集落排水や上水道工事により、舗装面がつぎはぎ状態である。また、住宅化が進み交通量が著しく増加したこと、大型車両の通行も増加したことにより、舗装面に多くのひび割れも発生している、損傷の激しい路線である。 そのため、沿線住民からも早期の対応を強く要望されている路線であることから、本交付金を活用し、舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を高めることを目的とする。		
交付金事業の成果指標		地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を確保するためには、道路瑕疵につながるような、轍掘れ及び路盤上のひび割れ等の解消改善を図る必要があるため、舗装補修を実施する。 (必要維持補修延長L=626m 舗装補修実施延長L=243.1m 舗装補修実施割合38.8%)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金活用により、本年度は延長138m、面積776.2㎡の舗装補修を実施した。本年度整備した区間においては、ひび割れ率0%、轍掘れも解消され、地区自治会長等からは騒音や振動が解消され、良くなったとの意見を頂いた。本路線の舗装補修は平成28年度より実施し、本年度で舗装補修実施割合38.8%を達成することができ、交通量も多い生活道路としての安全性の確保や騒音の解消等が図られた。		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	道路の舗装維持修繕	指名競争入札	角田建設 株式会社	6,620,400
		計		6,620,400
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H34

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道味噌野相之沢橋線舗装補修工 事(1)	渋川市	10,195,200	9,400,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道味噌野相之沢橋線舗装補修工事(1)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		渋川市		
交付金事業実施場所		渋川市北橋町上箱田地内		
交付金事業の概要		施工延長 L=142.0m 表層 t=5cm、A=867.9m ² 路上路盤再生工 t=19cm、A=838.6m ²		
総事業費	10,195,200	交付金充当額	9,400,000	
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	9,400,000	
交付金事業の成果目標		<p>本路線は、全線にわたり農業集落排水や上水道工事により、舗装面がつぎはぎ状態である。また、住宅化が進み交通量が著しく増加したこと、大型車両の通行も増加したことにより、舗装面に多くのひび割れも発生していて、損傷の激しい路線である。</p> <p>そのため、沿線住民からも早期の対応を強く要望されている路線であることから、本交付金を活用し、舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を高めることを目的とする。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>地域住民の利便性の向上と生活道路として交通の安全性を確保するためには、道路瑕疵につながるような、轍掘れ及び路盤上のひび割れ等の解消改善を図る必要があるため、舗装補修を実施する。</p> <p>(必要維持補修延長L=2610.8m 舗装補修実施延長L=1,064m 舗装補修実施割合40.8%)</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金活用により、本年度は延長142.0m、面積867.9m²の舗装補修を実施した。本年度整備した区間においては、ひび割れ率0%、轍掘れも解消され、地区自治会長等からは騒音や振動が解消され、良くなったとの意見を頂いた。本路線の舗装補修はH25より実施し、本年度で舗装補修実施割合40.8%を達成することができ、交通量も多い生活道路としての安全性の確保や騒音の解消等が図られた。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	道路の舗装維持修繕	一般競争入札	株式会社 狩野組	10,195,200
		計		10,195,200
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H39

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載